

彙報

新童話教育講習會

- 一、趣旨 これからの新しい童話理論と實際の指導
 - 一、日時 十月十七日(祭) 二十日(日) 午前九時——午後四時
 - 一、會場 木挽町 京橋國民學校(銀座一丁目下車)
 - 一、講師 童話と神話について 藤澤衛彦氏(明大教授)
 - 童話の新しい話し方 内山憲尙氏(東京保育學校)
 - 童話文學のはなし 松原至大氏(大毎顧問)
 - 放送と児童 南江治郎氏(企畫部長)
 - アンデルセンの話 平林廣人氏(都囑託)
- 主催 日本童話協會 後援 東京都教育局、毎日新聞社

民主保育聯盟創立

戰爭による荒廢の中から民主日本の建設をめざして進まうとしてゐる私達には、この國の將來をになふ乳幼児が最も大きい希望なのです。乳幼児の強いたくましい豊かな成長を待望する私達は終戦一年今なほあまりにもみじめな子供たちの生活状態に胸をいためずにはゐられません。

戰爭で親を失ひ家を焼かれてちまたをさまよふ子供たちおやつはもちろん、必要な食事を充分に與へられず、毎日にやせてゆく子供たち

童話や歌や繪本のたのしさを忘れた子供たち
遊び場も託児所も幼稚園もあとかたなくこぼされて、まびしげな子供たち
そしてこのいたげない子供たちをわが身にかへて必死にかばひま

もる扱はれてた母親のすがた。
戰爭中の『おほみたから』は今、國の保護もなく放任され、しかも自ら告げ訴へるすべを持たないのです。

このいたましい状態を唯黙つて眺めてゐられませうか。この子供たちを飢ゑと貧しきからまもり、新日本の建設者として正しく教育することは、私達みんなにあたへられた大きい責任なのです。ことに子供たちの保育擔當者である保母、保健婦、教師、乳幼児研究家、両親及び働く婦人は自由、協同の力をもつて、この仕事に當らなければならぬと思ひます。ここに民主保育聯盟の設立を發起することになりました、この聯盟の當面の活動は政府當局に乳幼児の完全な保護、教育の方策をすみやかにたてて實現するやう要求すること。

従來の保育施設が利用者である働く人々の要望にかなふやう民主的な經營をすること。

一方働く人々の協力によつて、地域、職域に子供會館、子供友の會等新しい保育施設、子供の廣場、子供クラブを研究創設すること、このために保育を擔當する保母、保健婦、教師、乳幼児研究家、両親及び働く婦人が、たえず保育の實際問題に深い正しい視野をもつやう研究し合ふこと、同時にその社會的地位の擁護を計ること、等に重點を置いて運動をすゝめてゆきます。

勿論日本の經濟的建て直りが進んでゐない。今これからの問題の解決には並々ならぬ困難が伴ひませう。けれども民主保育聯盟は勞